

## 江津地域の今後の県立高校の在り方について

### 1 諮問を受けた「基本的な方針（案）」

- ・ 江津地域の子どもたちの進路の選択肢の確保と、教育活動の充実を最優先に考え検討
- ・ 1学年2学級の江津高校と江津工業高校を統合し、新たに1学年3学級の高校を設置
- ・ 江津高校が築いてきた地域連携による進学を念頭においた学びを継承
- ・ 江津工業高校の伝統を生かすとともに、県西部の工業教育へのニーズに対応できるよう、工業教育の更なる魅力化を検討
- ・ 工業教育の実習施設・設備が必要であることから、新設校は江津工業高校の場所を念頭
- ・ 開校する時期は、教育課程の検討と、それを踏まえた施設整備のため、令和10年度前後を想定

#### <新設校のイメージ>

##### 基本的な方針（案）

| 想定される学び              |  | 1学年当たりの学級数  |                     |
|----------------------|--|-------------|---------------------|
| 進学を念頭に置いた<br>普通科系の学び | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文系進学をめざすコース</li> <li>・ 看護・栄養・保育などの資格職をめざす進学コース</li> </ul>       | 1学級<br>(40) | 2学科<br>3学級<br>(120) |
| 工業教育の更なる魅力化          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機械系</li> <li>・ ロボット制御系</li> <li>・ 建築系</li> <li>・ 電気系</li> </ul> | 2学級<br>(80) |                     |

### 2 これまでの審議会での議論

- ・ 新しい教育の在り方に挑戦するという点で新設校の方が良い
- ・ 子どもたちが魅力を感じるような学科を設置する
- ・ 江津高校と江津工業高校が築いてきた学びを生かしつつ魅力的な学科とする

### 3 議論のポイント

#### (1) 学科設定と定員バランス

##### (案1) 進学を念頭に置いた学びを 60 人定員とし工業系を 60 人定員とする

- ・ 進学を念頭に置いた学びにおいて、理系進学や地域についての学びに対応する
- ・ 工業科は 60 人定員で機械系・電気系・建築土木系の 3 つの学びとする

| 想定される学び          |  | 1 学年当たりの学級数  |                       |
|------------------|--|--------------|-----------------------|
| 進学を念頭に置いた普通科系の学び | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進学をめざすコース（文・理）</li> <li>・ 地域課題を探究し進学をめざすコース</li> <li>・ 看護・栄養・保育などの資格職をめざす進学コース</li> </ul> | 2 学級<br>(60) | 2 学科<br>4 学級<br>(120) |
| 工業科              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機械系</li> <li>・ 電気系</li> <li>・ 建築土木系</li> </ul>  | 2 学級<br>(60) |                       |

※ 「基本的な方針 (案)」に比べて常勤教員が 2 人程度少なくなる可能性

##### (案2) 進学を念頭に置いた学びを 80 人定員とし工業系を 40 人定員とする

- ・ 進学系を念頭に置いた学びにおいて、理系進学や地域についての学びに対応する
- ・ 工業科は 40 人定員で機械系・電気系・建築土木系の 3 つの学びとする

| 想定される学び          |  | 1 学年当たりの学級数  |                       |
|------------------|--|--------------|-----------------------|
| 進学を念頭に置いた普通科系の学び | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進学をめざすコース（文・理）</li> <li>・ 地域課題を探究し進学をめざすコース</li> <li>・ 看護・栄養・保育などの資格職をめざす進学コース</li> </ul> | 2 学級<br>(80) | 2 学科<br>3 学級<br>(120) |
| 工業科              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機械系</li> <li>・ 電気系</li> <li>・ 建築土木系</li> </ul>  | 1 学級<br>(40) |                       |

※ 「基本的な方針 (案)」に比べて常勤教員が 5 人程度少なくなる可能性

## (2) 新設校設置によって生まれる新たな学び

### ① 普通科系と工業科が併置されることによって得られるもの

- ・ 普通科系の探究学習に工業科の知識・技術が加わり活動が深まることや、工業科の課題研究に普通科系のアイデアが加わり新たなモノづくりができる
  - 例) 普通科系の探究活動で、一人暮らしの高齢者が必要としているものについて調査し、新たな道具のアイデアが生み出され、それを工業科の知識・技術で実現する
- ・ 普通科系の生徒が工業系の資格を取得し就職することができる
  - 例) 普通科系の生徒が電気工事士等の資格取得
- ・ 工業科の生徒が普通科系の生徒とともに進学指導を受けることができる
  - 例) 工業科の生徒が島根県立大学等に進学

### ② 島根県立大学、ポリテクカレッジ島根との連携で可能になる学び（イメージ図参照）

- ・ 普通科系の探究活動、工業科の課題研究を地域政策学部と連携して行う … ①
- ・ 普通科系の生徒が国際関係学部の講座を先行履修し、在学中または進学後の海外留学につなげる … ②
- ・ 地域政策学部と連携することで7年間というスパンで自らの課題と向き合う … ③
- ・ 人間文化学部の保育・教育職を志す学生、看護栄養学部で看護師、栄養士を志す学生をメンターとし、互いの学びを深める … ④
- ・ 短期大学部での学びを志向するニーズに対応 … ⑤
- ・ ポリテクカレッジ島根の学生と連携して地域課題解決などの探究的な学びを行う … ⑥
- ・ ポリテクカレッジ島根の施設・設備を使用して工業科の課題研究を深める … ⑦
- ・ ポリテクカレッジ島根との合同授業により互いに刺激を受け合う … ⑧

## 4 今後の検討に当たっての留意事項

- ・ 開校まで、または開校後であっても、地域や社会のニーズを捉え、時代にあった魅力ある学びとなるよう柔軟に対応し、必要があれば見直す
- ・ パブリックコメントを実施するなど地域の声を聴く機会を持つ
- ・ 学びの内容の具体を検討する際には、生徒や地域の中学生の意見も踏まえる

# 島根県立大学、ポリテクカレッジ島根との連携した学び（イメージ）

